【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公開番号】特開2002-253746(P2002-253746A)
【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)
【出願番号】特願2001-60263(P2001-60263)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月28日(2006.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の図柄を変動表示する変動表示手段と、
ゲーム毎に内部当選役を決定する内部当選役決定手段と、
前記内部当選役決定手段の決定結果と遊技者の停止操作とに基づいて前記変動表示手段の変動表示動作を停止制御する停止制御手段と、
遊技者にとって有利な状況の継続又は終了を決定する状況決定手段とを備え、
前記状況決定手段は、前記内部当選役決定手段が前記内部当選役として増加役を決定したときに、前記有利な状況の継続又は終了を決定することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
請求項１記載の遊技機において、
前記所定の条件は、前記増加役の入賞が成立したこと、又は前記増加役の入賞が成立したときに発生する特別遊技状態が終了したことである遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
一の発生条件は、一般遊技状態の「ＮＴ」において、「ベルの小役」に内部当選すること（後述の図１８のＳ４１の判別が“ＹＥＳ”）、所定確率で当選する抽選において当選すること（後述の図１８のＳ４３の判別が“ＹＥＳ”）、及び“ベル－ベル－ベル”を有効ライン上に揃えること（後述の図２４のＳ１１５の判別が“ＹＥＳ”）である。この発生条件が成立することとなる確率は、「ベルの小役」に内部当選する確率（例えば、“1/3”）、抽選において当選することとなる確率（例えば、“1/40”）、及び“ベル－ベル－ベル”が有効ライン上に揃う確率（“1/6”）を掛けることにより、“1/720”となる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００４８】
図４（２）は、「ＳＴ」において表示される画像の背景を示す。この背景は、近未来都市メダロポリスを表わしたものであり、後述の図５に示すように、このメダロポリスを背景として「停止順序」を報知する演出が行われる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８７】
図１２において、右のリール３Ｒの「停止制御位置」は、コードナンバー“０１”，“０５”，“１０”，“１４”又は“１８”のいずれかである。図２に示す図柄列において、これらに対応する図柄は、“ベル”である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１３】
一般遊技状態で「ベルの小役」に内部当選した場合には、Ｓ５４の処理において、図１６のＳ２０の停止操作が第１停止操作であるか否かを判別する。この判別が“ＹＥＳ”のときは、Ｓ５５の処理に移り、“ＮＯ”のときは、Ｓ６０の処理に移る。Ｓ５５の処理では、図１６のＳ１７の処理で決定したテーブル番号、及び第１停止操作が行われた停止ボタンに基づいて、“１５枚”のメダルが払出される「ベルの小役」の入賞成立の可能性があるかどうかを判別する。例えば、テーブル番号として“１”が選択されている場合、第１停止操作として左の停止ボタン７Ｌが操作された場合には、Ｓ５５の判別は、“ＹＥＳ”となる。他方、第１停止操作として中央又は右の停止ボタン７Ｃ、７Ｒが操作された場合には、Ｓ５５の判別は、“ＮＯ”となる。Ｓ５５の判別が“ＹＥＳ”のときは、Ｓ５６の処理に移り、“ＮＯ”のときは、Ｓ５７の処理に移る。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１４】
Ｓ５６の処理では、当り用停止制御テーブル（図１２）、操作された停止ボタンに対応するリール、及び停止操作位置に基づいて滑りコマ数を決定する。例えば、左の停止ボタン７Ｌが操作され、停止操作位置が“０４”であるとき、滑りコマ数は、“４”と決定される。ここで、当り用停止制御テーブルを使用して停止制御を行うのは、Ｓ５５の判別が“ＹＥＳ”であり、センターライン８ｃに沿って“ベル－ベル－ベル”が並ぶ可能性があるためである。なお、前述のように、センターライン８ｃに沿って“ベル－ベル－ベル”が並ぶか否かが確定するのは、第２停止操作が行われたときである。従って、後述のように、Ｓ５６の処理の後、はずれ用の停止制御テーブル（図１３、図１４）が使用される場合がある。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０１２６】

図２２のＳ９１の処理では、サブＣＰＵ７４は、「内部当選役コマンド」が「ＢＢ」に内部当選したことを示すかどうかを判別する。この判別が“ＹＥＳ”のときは、Ｓ９２の処理に移り、“ＮＯ”のときは、Ｓ９５の処理に移る。Ｓ９２の処理では、ＢＢ間ゲーム数カウンタの値を参照する。続いて、カウンタの値が“１”であるか、すなわちＢＢ遊技状態が終了したゲームの次のゲームでＢＢに内部当選したかどうかを判別する（Ｓ９３）。この判別が“ＹＥＳ”のときは、ＣＳＴ付きＢＢフラグをセットし（Ｓ９４）、図２１のＳ８１の処理に移り、“ＮＯ”のときは、図２１のＳ８５の処理に移る。ここで、ＢＢフラグとは、ＢＢに内部当選しているか否かを示すものである。また、ＣＳＴ付きＢＢ、ＮＳＴ付きＢＢとは、ＢＢ遊技状態が終了した後、夫々ＣＳＴ、ＮＳＴが発生することとなるＢＢを示す。